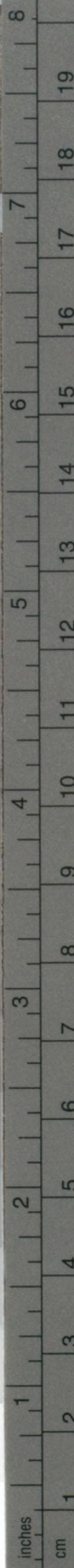


Kodak Gray Scale



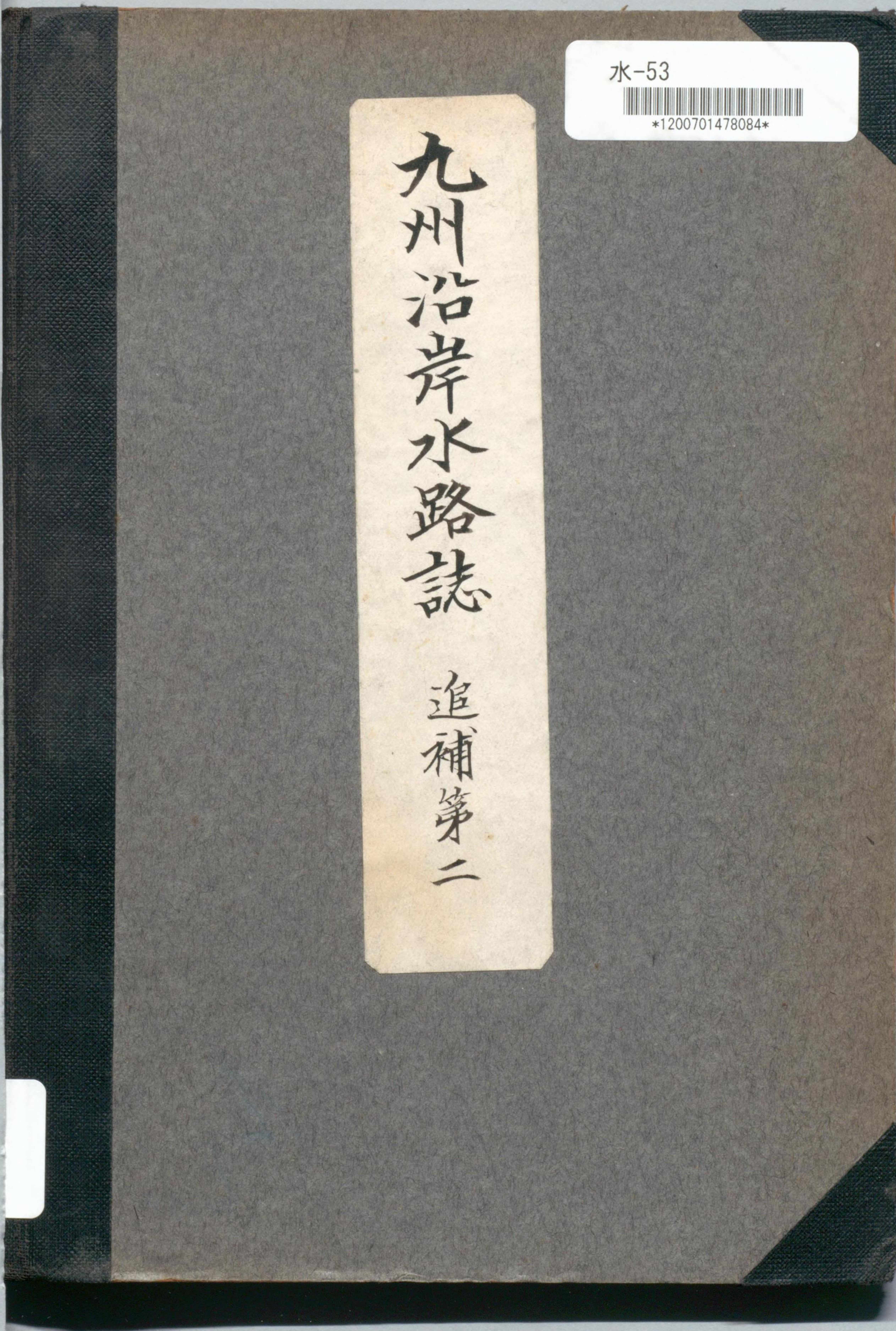
© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak



九州沿岸水路誌 追補第二

水-53
1200701478084

水
53

書誌第4號追

九州沿岸水路誌

追補第2

昭和7年12月刊行

水路部

水
53

注 意

追補ヲ受領シタルトキハ下記ノ如ク取扱フモノトス。

1. 當該水路誌ノ表紙裏ニ在ル追補番號記入表ニ必要ナル填記ヲ爲ス。
2. 當該水路誌ニ貼附セル訂正用貼附紙及關係告示ニシテ同追補ニ収録セル以前ノモノハ之ヲ除去スルモノトス但シ一時關係告示ニシテ尙効力ヲ存スルモノハ此ノ限ニ在ラズ。
3. 當該水路誌ノ關係欄外ニ「追補参照」ト朱記ス（活字等ヲ用フルヲ便トス）。約二、三字程度ノ簡單ナル事項ハ當該水路誌ニ鉛筆ニテ直接加筆訂正スルモ差支ナシ。
4. 追補ノ常ニ當該水路誌ノ間ニ挾ミ保管スルヲ要ス。

水-53.



九州沿岸水路誌

追補第2

本追補ハ昭和7年9月水路告示第38號(1,111項)迄及其ノ他ノ資料ニ據リ昭和5年6月刊行ノ九州沿岸水路誌中ノ關係事項ヲ加除訂正シ之ヲ昭和6年12月刊行ノ同追補第1ニ追加改訂ノ上列記セルモノナリ。

* 附セルハ新ニ追加又ハ改訂記載セル記事ナルコトヲ示ス。

昭和7年12月 水路部

頁 及 行

記 事

關係水路誌ノ沿革 2. 昭和 衰滅水路誌 ノ次ニ 第1卷上下 ヲ追加ス
目録 1頁 7行 潮汐 不知火 ト改メ



水
53

頁	行	記 事
7	10	* 第1巻第5編 ヲ 第3巻 ト改ム
8	11次	次ノ通追加ス
		不知火 古來八代海及島原海灣内有明海ニ於テ出現スト稱セラルル不知火ノ正體ニ就キ福岡縣水産試験場ニ於テ調査セシモノ(出所、有明海干潟利用研究報告)下記ノ如シ。 有明海ニ於テ陰曆除夜出現スト唱ヘラレ千古ノ疑問ト稱セラルル不知火ノ正體ハ、大干潮線附近ニ發生スル「タヒラギ」ヲ採取スル漁火ナリ(「タヒラギ」貝ハ干潟ニテハ大干潮線附近ニ發生ス、冬季ハ晝間ノ干潮ハ小ニシテ夜間ノ干潮ニ非ザレバ發生場附近迄干出ヲ見ズ、故ニ冬季之ガ徒チ採リヲ行ハンニハ夜間ニ於テセザルベカラズ、陰曆除夜ニ於ケル漁場附近ノ干出ハ午前2時ヲ中心トスル前後約2時間ナリ)。 而シテ之ハ 1. 今ノ肥前肥後ノ國號ノ起因タル主知ラヌ火、筑紫ノ枕詞タル「シラヌ火」及海上ノ不知火ノ3者ガ全ク異レルモノナルコト。 2. 八代海及有明海ニ於ケル不知火傳唱ノ起源ハ比較的新シキモノニシテ八代海ニ於テ約300年有明海ニテ約110年以來ノモノナルコト。 3. 一般ニ信ゼラルル如キ微生物ノ發光ニモ非ズ又他ノ何等ノ原因ニモ非ザルコト。 4. 大正5年ヨリ6年ニ至ル實地研究ニ依リ漁火ナルヲ確認セルコト。 等ニ依リ明瞭ニ證明スルコトヲ得。 又陰曆7月晦八代海ニ現ハルル不知火モ亦上ノ研究ヨリ類推シテ同様漁火ト認メテ誤ナシトス。
9	3	潮流微弱ニシテ ヲ削除ス

頁	行	記 事
9	4	轉流ス ノ次ニ ルモ微弱ニシテ不定ナリ ヲ追加ス
11	15至16	* 擴大シ 以下ヲ 擴大ス。 ト改ム
13	28	* アルモ、其ノ ヲ次ノ通改ム アリ、遞信省燈臺局所管ノ航路標識新設、改廢、異變等一般艦船ノ航行保安上注意ヲ要スベキ緊急事項ハ東京無線電信局又ハ遞信省所管海岸無線電信局ヨリ放送ス(15頁水路告示放送參照)、其ノ中ノ必要ナルモノハ猶遞信省公示事項トシテ午後7時日本放送協會東京中央放送局(JOAK)ヨリ放送無線電話ニ依リテ放送シ内地各放送局ヨリ之ヲ中繼ス(水路誌附録第3巻參照)、東洋燈臺表上巻記載ノ航路標識ニ關スル * 等ニ關シテハ水路誌附録第1巻ニ ヲ削除ス * 東洋燈臺表上巻 ヲ 水路誌附録第3巻 ト改ム 鹿兒島(JBK) ヲ 鹿兒島 $\begin{cases} JKB \\ JBK \\ JKG \\ JKA \end{cases}$ ト改ム 福岡(JXF) ノ次ニ 富江(JXI)、嚴原(JXY) ヲ追加ス * ノ末尾ニ 長崎縣遠洋底網水産組合(JPZ) ヲ追加ス * 東洋燈臺表上巻 ヲ 水路誌附録第3巻 ト改ム * 4時 ヲ 1時20分 ト改ム 15次 次ノ通追加ス 緊急水路告示中必要ノモノハ午後7時東京中央放送局(JOAK)ヨリ放送無線電話ニ依リ官省公示事項中水路部公示事項トシテ放送シ内地各放送局ヨリ之ヲ中繼ス。 * ノ末尾ニ次ノ通追加ス 又福岡(JOLK)小倉(JOSK)及熊本(JOGK)ノ各放送局ニ於テハ放送無線電話ニ依リ時報ヲ行フ(水路誌附録第3巻參照)。 * 9月 ヲ 7月 ト改ム * 及其ノ北西方ノ水中障碍物 ヲ削除ス
14	22	
14	23	
14	27	
14	27	
15	4	
15	5	
15	14	
15	15次	
17	2	
32	22, 23	
33	25	

頁	行	記 事
4		
37	25至26	ノ南西方約2哩ニ水中障碍物アリ、又同角ヲ削除ス
39	21	ニ主無線羅針局、大連埠頭ニ副ヲ及大連埠頭ニト改ム
45	25	7,043 (大正14年) ヲ 6,036 (昭和5年) ト改ム
46至66	欄外	* 海圖 ノ次ニ 1228 ヲ追加ス
46	18次	* 次ノ通追加ス
		沈船 地ノ島南西方約1.2哩ニ沈船(汽船第2博鐵丸720噸)アリ(昭和6年)。
46	21至22	2,300 餘 ヲ 1,699 (昭和5年國勢調査) ト改ム
47	5次	* 次ノ通追加ス
		沈船 立界大島燈臺ノ北西方約7.3哩ニ沈船(汽船根室丸220噸)アリ(昭和7年)。
47	22次	次ノ通追加ス
		水底電線 福岡縣宗像郡神湊町大字神湊字西口ト同郡大島村字大岸トノ間ニ水底電線1條ヲ敷設シ兩陸揚地ヨリ沖合600米迄ハ線條ノ左右各50米以内其ノ他ハ線條ノ左右各200米以内ヲ以テ線路區域ト指定シアリ。
51	3次	* 次ノ通追加ス
		航行及碇泊禁止區域 博多港修築工事施行中一般船舶ノ航行及碇泊禁止區域下ノ如シ。
		航行禁止區域
		1. 博多内港沖合浚渫區域ニ於テ浚渫船及唧筒船ノ周圍半徑220米ノ圈内(甲區域)○同起重機船、混和船及潜水船ノ周圍半徑110米以内ノ圈内。
		2. 博多内港北東方外側埋立區域。
		3. 荒津埼北方防波堤築造箇所。
		碇泊禁止區域
		上記浚渫船ノ中心ヨリ船首尾方向ニ各490米ノ位置ヨリ甲區

頁	行	記 事
		域ノ圓周上ニ引キタル4箇ノ切線ト其ノ圓周ノ一部トニ依リテ包マルル2區域(乙區域)。
		猶乙區域航行ノ際ハ作業船ノ錨鎖及浮標等ニ注意スルヲ要ス。
51	5至6	該北端ヨリ 以下ヲ次ノ通改ム
		113度ノ針路ヲ以テ殘島北端ニ向首スベシ、然ルトキハ西浦岬ヲ1.5鏈以上隔テテ航過スルヲ得ベシ。
51	20至22	* 西戸埼 以下ヲ削除ス
52	7	* 909米 ヲ 855米 ト改メ 1,136米 ヲ 1,245米 ト改ム
52	9次	* 次ノ通追加ス
		以上ハ昭和11年度ヲ以テ竣工豫定ノ國庫補助ニ依ル修築計畫工事ニシテ昭和7年3月ニ於テハ防波堤ノ一部(中ノ瀨附近長サ約130米ノ間)、浚渫ノ一部(水深7.8米區域ノ約 $\frac{2}{3}$)及埋立ノ一部(福岡地先區域ノ約 $\frac{1}{3}$)ノ完成ヲ見タリ。
		別ニ博多灣築港株式會社ハ上記築港ノ東隣ニ於テ箱崎町前面一帯ヲ埋立テ其ノ接岸水域ヲ浚渫シテ内港ヲ設ケ更ニ其ノ外方ニ於テ西戸埼南東方ヨリ此ノ内港ニ至ル水路ノ浚渫及防波堤築造ヲ行フ計畫ヲ以テ現ニ工事施行中ニシテ其ノ中埋立地ノ大部分ハ既成ニ屬ス。
52	22	* 2年 ヲ 5年 ト改ム
52	23至26	* ヲ次ノ通改ム
		移出 15,091,107 噸 石炭、履物、金屬及同製品、重油等。
		移入 17,398,150 鮮魚介、木材、朝鮮米、金屬製品、大豆等。
		輸出 141,779 石炭、履物等。
		輸入 5,282,895 揮發油、原油、石油、木材等。
52	28	* ヲ次ノ通改ム
		外國貿易 汽 船 56 182,076
53	1至3	* ヲ次ノ通改ム

頁	行	記	事
		汽 船 3,476	734,297
		内國貿易 發動機船 2,226	106,470
		帆 船 1,817	90,089
53	7	* 博多灣鐵道ハ香椎	ヲ次ノ通改ム
		筑前參宮鐵道ハ勝田ニ至リ、篠栗線ハ篠栗ニ達ス、又博多灣鐵道ハ宇美ヨリ香椎及和白	
53	9	香椎	ヲ 宮地嶽 ト通ム
53	12	* 第1卷	ヲ 第3卷 ト改ム
53	12次	* 次ノ通	追加ス
		福岡放送局 縣廳附近ニ在リ、呼出符字JOLKニシテ放送無線電話ニ依リ時報ヲ行フ（水路誌附録第3卷参照）。	
		福岡飛行場 名島ノ無線電信局附近ニ在リテ起重機2基ヲ有ス、國際飛行場ニシテ大連、京城、上海等ノ海外ヨリ飛來スル航空機ハ先ヅ此ノ飛行場ニ着シテ税關檢疫等ノ手續ヲ經ルヲ要ス即チ所謂空港（Air Port）タリ。	
53	15	* 港務部	ヲ 内務省博多灣修築事務所 ト改ム
53	17至18	人口	ノ記事ヲ次ノ通改ム
		人口	人口 228,289（昭和5年國勢調査）、之ヲ大正14年國勢調査ニ比較スレバ 82,284ノ増加ナリ。
53	25次	次ノ通	追加ス
		◎昭和6年1月21日特務艦室戸ハ黑色煙突ノ354½度7鏈ニ投錨セシガ此ノ處ハ低潮時水深9.1米底質泥ニシテ錨搔キ良好ナリシト謂フ。	
57	18至19	278度	以下 5鏈 迄ヲ次ノ通改ム
		船尾ニ保チ 278度ニ進メバ神集島ノ北方約4.5鏈	
57	24	276度5分	ヲ 273½度 ト改ム
58	3	燈光	ノ次ニ 及妙見山ノ北東方ニ在ル木柱上ノ不動白光燈 ヲ

頁	行	記	事
		追加ス	
58	18	* 2年	ヲ 5年 ト改ム
58	19至22	* 次ノ通	改ム
		移出	3,185,994圓 石炭等。
		移入	3,940,136 鮮魚介、鐵材、食鹽、魚糟等。
		輸出	1,672,820 石炭、「セメント」等。
		輸入	760,553 石炭、鐵礦、滿俺礦等。
58	24至27	* 次ノ通	改ム
		外國貿易 汽 船	256 550,122
		内國貿易 汽 船	1,557 488,284
		發動機船	38 1,386
		帆 船	1,016 41,138
58	27次	* 次ノ通	追加ス
		水先 電報ニテ通告シ置ケバ神集島東側ニ出動乗船ス但シ本港水先人ハ免許水先人ニ非ズ。	
59	5	人口	ノ記事ヲ次ノ通改ム
		人口	昭和5年國勢調査ニ依レバ唐津町ノ人口17,344アリ。
62	17	36分	ヲ 削除ス
65	15	96度	以下ヲ次ノ通改ム
		約96度ノ針路ヲ採リ、宮崎東端ヲ約131度ニ望マ	
65	17	4分	ヲ 削除ス
65	21至22	158度	以下 中央 迄ヲ 約160度ニ採リテ高岩鼻ノ孤松 ト改ム
67	13	39分	ヲ 削除ス
69	7	39分	ヲ 40分 ト改ム
69	15次	* 次ノ通	追加ス
		津崎夜標 津崎東側大石村落ノ北方山腹ニ電燈アリ夜間津崎水道通過ニ際シ好目標ト爲ル◎不動白光燈、光達距離16哩◎燈	

頁	行	記 事									
		高、礎上9.1米、平均水面上45.7米 ○構造、電柱 ○無看守、星鹿村在郷軍人分會設置。									
70	8至9	志佐ハ人口2,942(大正14年) ヲ 志佐町ハ人口3,201(昭和5年) ト改ム									
70	24	立デテ ヲ 立テテ ト改ム									
73	1	41分 ヲ 40分 ト改ム									
73	3	153度41分 ヲ 142度 ト改ム									
73	5	93度41分 ヲ 94度 ト改ム									
73	7至8	5分 ヲ 削除ス									
73	9	146度41分 ヲ 147度 ト改ム									
73	12	110度41分 ヲ 111度 ト改ム									
73	14	93度41分 ヲ 94度 ト改ム									
73	24	* 輪 ヲ 削除シ 2年 ヲ 5年 ト改ム									
73	26至28	* ヲ 次ノ通改ム <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>汽 船</td> <td>8,305</td> <td>199,191</td> </tr> <tr> <td>入港船舶</td> <td>發動機船 36</td> <td>4,200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>帆 船 1,276</td> <td>29,633</td> </tr> </table>	汽 船	8,305	199,191	入港船舶	發動機船 36	4,200		帆 船 1,276	29,633
汽 船	8,305	199,191									
入港船舶	發動機船 36	4,200									
	帆 船 1,276	29,633									
74	1至2	* ヲ 次ノ通改ム 移出 1,880,975 陶磁器、石炭、和酒、砂糖等。 移入 1,926,634 鮮魚介、乾魚、礦油、藥品、砂糖等。									
74	4	4,733 ヲ 8,968(昭和5年國勢調査) ト改ム									
74	25	39,373(大正14年) ヲ 40,220(昭和5年) ト改ム									
76	6	265度32分 ヲ 265½度 ト改ム									
77	11	4,042(大正14年) ヲ 4,262(昭和5年) ト改ム									
80	10	平 ノ次ニ 方 ヲ 追加ス									
80	25	55,049(大正14年) ヲ 54,562(昭和5年) ト改ム									
81	23	91度 ヲ 92度 ト改ム									

頁	行	記 事
82	24	ノ 末尾ニ 次ノ 通追加ス ○四季ヲ通ジテ偏北風多シ、港ノ周圍ハ山高キヲ以テ吹下シト爲リ港内ハ天候好キ日ニテモ相當風強ク連吹スルコトアルモ水面ハ小波ヲ湛フルノミニシテ靜穩ナルヲ例トス。
83	2	ノ 末尾ニ 次ノ 通追加ス ○昭和5年7月驅逐艦疾風ハ耶良埼燈竿ノ261½度600米水深14.6米底質沙泥ノ處ニ碇泊セリ。
83	10	紅塗 ヲ 白塗 ト改ム
83	22次	* 次ノ通追加ス 目標 耶良埼燈竿及導燈ハ何レモ白塗木竿ニシテ周圍ノ樹木鬱葱タル爲晝間目標トシテハ明瞭ナラズ、港口ヲ判知スルニハ支廳北東方高地ニ立テル嚴原無線電信局ノ櫓形無線電信柱ヲ利用スルヲ適當トス。 針路法 東方ヨリ入港スルトキハ丸隈山頂ヲ274度ニ保チツツ港口ニ達シ鶴翼山頂ト志賀鼻西方突角トヲ一線ニ望ムトキ之ニ向ツテ進メバ港ノ中央錨地ニ就クコトヲ得。
84	3	* 2年 ヲ 5年 ト改ム
84	4至7	* ヲ 次ノ通改ム 移出 880,779 鮮魚介、乾魚、礦油、木炭、煙草等。 移入 1,592,531 鮮魚介、朝鮮米、煙草、乾魚、和酒等。 輸出 15,150 雜品。 輸入 612 雜品。
84	9至12	* ヲ 次ノ通改ム 外國貿易 汽 船 3 222 内國貿易 { 汽 船 1,641 523,742 { 發動機船 9,449 85,916 { 帆 船 248 3,792

頁	行	記 事
84	18至19	佐須奈 以下ヲ次ノ通改ム 比田勝又ハ佐須奈ニ毎月6回以上1年期間72回以上發船シ、往復共佐世保、田助、郷ノ浦又ハ勝本、嚴原ニ寄港ス、但シ每航西泊及比田勝又ハ佐須奈ヨリ釜山ニ延航スルコトヲ得ルコトトナリ居レリ。
84	22次	* 次ノ通追加ス 鶏知、竹敷ニハ定期自動車ノ便アリ、大船越ニハ自動車通フモ定期ニハ非ズ。 嚴原無線電信局 遞信省所管ノ固定局ニシテ嚴原町東里字立石ニ在リ、呼出符字JXY。
84	27	9,532 (大正14年 ヲ 9,259 (昭和5年 ト改ム
84	28	ヲ次ノ通改ム 察署、營林署、稅務署、郵便局、刑務所支所、稅關支署、港務部出張所、測候所、憲兵分駐所、築城部支部等アリ。
85	9	北東 ヲ 南東 ト改ム
85	11	344度8分 ヲ 345度 ト改ム
85	12	陸頭ニシテ高斷崖 ヲ 高角ニシテ斷崖 ト改ム
86	1, 18	分圖 ヲ削除ス
90	20	176 ヲ 175 ト改ム
93	23	大島 ノ前ニ 南風ノ波瀨 (ハエノハセ) 中ノ ヲ追加ス
96	18	釜山線 以下ヲ次ノ通改ム 壹岐對馬線ヲ航スル汽船毎月6回以上就航シ比田勝又ハ當地ニ入港ス、
97	20	陸頭 ヲ 高角 ト改ム
97	27	仁田 ノ次ニ 村 ヲ追加ス
98	11	176 ヲ 1215 ト改ム
98	19	御前埼 ノ次ニ (海圖 176) ヲ追加ス

頁	行	記 事
104	21	* ニ水底電線 ヲ次ノ通改ム 及的山浦ト度島曲埼北方海岸トノ間ニ水底電線各
105	21次	* 次ノ通追加ス 水底電線 度島曲埼北方海岸ト的山大島の山浦及平戸島西田ノ浦トノ間ニ各1條ノ水底電線アリ、度島陸揚地ヨリ線條ニ沿ヒ沖合650米迄ハ線條ノ左右各30米以内、其ノ外方ハ各200米以内ヲ以テ線路區域ト指定シアリ。
108	5次	* 次ノ通追加ス 水底電線 加戸島ノ東方西田ノ浦ヨリ度島曲埼北方海岸ニ至ル水底電線1條アリ、西田ノ浦陸揚地ヨリ線條ニ沿ヒ沖合650米迄ハ線條ノ左右各30米以内、其ノ外方ハ各200米以内ヲ以テ線路區域ト指定シアリ。
112	4	頭 ノ次ニ ノ ヲ追加ス
113	13次	* 次ノ通追加ス 南龍崎ノ北西方約4鏈ニ位スル山姥崎ノ南方海岸ニ對岸波戸崎南東方海岸トノ間ニ敷設セル水底電線1條ノ陸揚地點アリ、此ノ地點ハ4基ノ三角形頭標附立標ヲ以テ標示ス。
113	21	13,631 (大正14年 ヲ 13,210 (昭和5年 ト改ム
113	27	一陸頭 ヲ 獅子駒崎 ト改ム
116	8	209度27分 ヲ 約209度 ト改ム
116	11	12分 ヲ削除ス
116	18至19	ヨリ 以下ヲ次ノ通改ム ヲ通シテ白濱浦人家ノ1軒ナリトモ認メ得バ已ニ之ヲ離レ居ルノ證ナリト。
116	28次	* 次ノ通追加ス 沈船 平戸瀬戸叶埼東方約1.2鏈ノ處ニ於テ昭和4年沈没セル汽船ノ船體ハ其ノ後大部分ヲ解體シ現在海底ニハ船底及外板ノ

水
53

頁	行	記事
		一部ヲ残留ス、但シ船舶ノ通航ニハ支障ナシト謂フ。
117	16	陸頭 ヲ削除ス
118	11次	* 次ノ通追加ス 波戸埼南東方約420米ノ海岸ニ在ル4基ノ三角形頭標附立標ハ對岸南龍埼トノ間ニ敷設セル水底電線ノ陸揚地點タルヲ示ス。
120	1	52度 ヲ 48度 ト改ム
120	9	頸地ヲ以テ島ノ本部 ヲ 地頸ニ依ツテ島ノ主部 ト改ム
120	10	ノ末尾ニ次ノ通追加ス ◎黒島南端ヨリ南方ニ三角形ヲ成セル障碍物沈置區域アリ。
123	4	* 大村灣 ノ次ニ (海圖213) ヲ追加ス
123	13	* 能ハズ ノ次ニ次ノ通追加ス 大村町ノ北西方2.5哩ノ灣岸ニ大村海軍航空隊アリ
124	4至5	95,385 (大正14年 ヲ 133,174 (昭和5年 ト改ム
124	28至	248度52分ニ保視シテ進メバ ヲ 250½度ニ見通ス線ハ ト改ム
125	1	
125	2	293度52分ニ保視シテ進メバ ヲ 294½度ニ見通ス線ハ ト改ム
125	3	182度37分ニ保視シテ進メバ ヲ 183度ニ見通ス線ハ ト改ム
125	14至15	中浦 以下ヲ次ノ通改ム 小濱附近海岸及多以良村高帆山南西方附近海岸トノ間ニ水底電線各1條アリ。
125	18	* 8時18分 以下ヲ次ノ通改ム 8時6分 大潮升3.0米 小潮升2.2米 平均水面1.7米。
125	21	* ノ末尾ニ次ノ通追加ス 但シ芋島方面ノ錨地ニ於テハ加瀬浦〔西ヶ瀬浦〕北東側突角及孫次郎鼻附近ヨリ南東方ニ向ヒ「オキシ」網ト稱スル長サ約800米ノ大漁網ヲ投下シアリテ毎年8月ヨリ翌年6月迄晝夜漁撈シ夜間ト雖モ點火セザルヲ以テ注意ヲ要スト謂フ (昭和6年3月刊行漁具定置箇所一覽圖 No. 341 参照)。

頁	行	記事
125	24	* 高3.1米 以下ヲ次ノ通改ム 高サ3米大碇ハ47度59分6.1
125	25次	* 次ノ通追加ス 高尻礁ノ西方約8鏈御床島ノ北東ニ當リ最小水深0.1米ノ淺岩アリ「ヘタノゴーリユ」ト謂フ、此ノ礁ヨリ北西方2鏈ニ水深7米ノ淺礁アリ「沖ノゴーリユ」ト稱ス、又折瀬ノ鼻ノ南方0.8鏈ニ0.1米ノ干出岩アリ「ヘタノ舵掛」ト稱ス、該干出岩ノ南方更ニ約1鏈ニ最小水深0.7米ノ礁アリ「沖ノ舵掛」ト謂フ、折瀬ノ鼻ヨリ此ノ礁迄礁脈連互ス。 崎戸港導燈 崎戸港ニ下記ノ如キ各3箇ヨリ成ル2組ノ導燈アリ (村立)。 「フツノ」浦導燈 前燈 不動紅光燈、光達距離9哩◎燈高、礎上9.1米、平均水面上27.6米◎構造、塗裝セザル木造竿柱頂上ニ白色ノ三角形標ヲ戴ク。 中燈 前燈ヨリ74.6米◎燈高、礎上7.1米、平均水面上38.2米◎其ノ他前燈ニ同ジ。 後燈 前燈ヨリ228.6米◎燈高、礎上8.5米、平均水面上53.6米◎其ノ他前燈ニ同ジ。 本導燈ハ3燈一線103度ニシテ船舶出入ノ際隨時點燈ス。 蠣ノ浦導燈 前燈 不動紅光燈、光達距離9哩◎燈高、礎上10.6米、平均水面上14.7米◎構造、塗裝セザル木造竿柱頂上ニ白色ノ三角形標ヲ戴ク。 中燈 前燈ヨリ約50米◎燈高、礎上9.4米、平均水面上27.4米◎其ノ他前燈ニ同ジ。 後燈 前燈ヨリ約80米◎燈高、礎上9.1米、平均水面上

水
53

頁	行	記事
		30.1米○其ノ他前燈ニ同ジ。 本導燈ハ3燈一線43度ナリ。
125 126	26至 6	* ヲ次ノ通改ム 崎戸港挂燈浮標 第1號ヨリ第4號ニ至ル4箇ノ挂燈浮標アリ(村立)。 第1號 蠣ノ浦導燈線ノ北西側外方ニ在リ、不動綠光燈○光達距離5.5湊、明弧全度○燈高、水面上2.3米○構造、黒塗鐵造圓筒形、上部ニ格子製櫓ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲グ。 第2號 蠣ノ浦導燈線ノ南東側外方ニ在リ、不動紅光燈○光達距離6.5湊、明弧全度○燈高、水面上2.5米○構造、紅塗鐵造圓筒形、上部ニ格子製櫓ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲グ。 第3號 蠣ノ浦導燈線ノ北西側内方ニ在リ、燈質等第1號挂燈浮標ニ同ジ、但シ構造ハ黒塗鐵造圓錐形ニシテ上部ニ格子製櫓ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲グ。 第4號 蠣ノ浦導燈線ノ南東側内方ニ在リ、燈質等第2號挂燈浮標ニ同ジ、但シ構造ハ紅塗鐵造圓錐形ニシテ上部ニ格子製櫓ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲グ。 本挂燈浮標ハ船舶出入ノ際隨時點燈ス。
125	27	* (高3.1米)ヲ311度30分2鍾 ヲ次ノ通改ム (高サ3米)ヲ322度55分2.5鍾
126	7	* (高95米)アリ、ヲ次ノ通改ム (高サ98米)アリ又島ノ中央ニ白色大煙突(高サ88米)アリ、共ニ
126	18次	次ノ通追加ス 繫船浮標 港内ニ繫船浮標3箇アリ使用無料ナリト謂フ。
127	8	* 寄港ス ノ次ニ 尙長崎へ發動機船ノ2往復アリ ヲ追加ス
127	9	* ハ ヲ ニハ發動機船ノ5往復アリ尙 ト改ム

頁	行	記事
127	9次	次ノ通追加ス 水底電線 港内福浦海岸ヨリ内港ヲ横斷シ距離約100米ノ對岸網干場ニ至ル水底電線1條アリ、線條ノ左右各30米以内ヲ以テ線路區域ト指定シアリ。
127	12至15	* 水先 ノ記事ヲ次ノ通改ム 水先 水先人1名助手1名アリ但シ免許水先人ニ非ズ、入港ノトキハ港口到着豫定時刻ヲ通告シ置ケバ港外約2湊ノ處ニテ乗船シ助手ハ船尾ニ於テ繫船方ヲ補助ス。
127	16	村役場 ノ次ニ 郵便局 ヲ追加ス
127	16次	* 次ノ通追加ス 暴風標 蠣ノ浦小學校校庭ニ暴風標アリ。 架空線 蠣ノ浦導燈ノ中燈及後燈ノ位置ヨリ對岸ニ至ル架空線各1條アリ線ノ高サ高潮面上36.4米○鑛業所水槽ノ南方ヨリ對岸ニ至ル架空線1條アリ線ノ高サ高潮面上36.4米○蠣ノ浦島南西端今泊ヨリ對岸崎戸島ニ至ル架空線2條アリ線ノ高サ高潮面上40米及38.7米。
127	20次	人口 崎戸村ハ人口17,248(昭和5年國勢調査)ヲ有ス。 * 次ノ通追加ス
130	17次	次ノ通追加ス 暴風標 崎戸島本郷〔崎戸〕海岸ニ暴風標アリ。
130	22	* 角島 ヲ 角瀨(ツノゼ)(角島) ト改ム
130	25	* 松島港ハ島ノ北側ニ在ル小灣ニシテ、ヲ次ノ通改ム 松島港〔内浦灣〕 ハ島ノ北側ニ在ル小灣ニシテ船舶ハ導燈低燈ノ南東方約280米ノ港岸ニ横着シ「ベルトコンベヤー」ヲ以テ荷

頁	行	記 事
		役ヲ爲セバ1時間約120噸ノ載炭ヲ行ヒ得、
130	30	* ノ南々西方約1鏈 ヲ ヨリ 119度228米 ト改ム
131	3	* 前燈ノ南々西方約0.3鏈 ヲ 低燈ヨリ 119度280米 ト改ム
131	6	* 「センガン」瀬ノ中瀬及「ツグノ」磯 ヲ 「センガンノ中瀬」及「ツグ出シ」(ツグノ磯) ト改ム
131	7	* ノ末尾ニ次ノ通追加ス 但シ此ノ一線ハ「ツグ出シ」ノ南東方約240米ニ在ル「杉山出シ」(水深9.6米)ノ東側至近ヲ通過スルヲ以テ大吃水船舶ハ注意ヲ要ス。
131	8至9	* ヲ次ノ通改ム 立標 「センガン」瀬干出2.1米礁上ニ2立標アリ、之ヨリ内方ニハ導標タル上記3立標ノ外尙4立標アリ何レモ松島炭鑛會社ノ設立ニ屬ス。
131	13	* 38米 ヲ 43米 ト改ム
131	14	* 「モットリ」山 ヲ 元取山(モットリ山) ト改ム
131	15,16	* 「ドワタシ」鼻 ヲ 「ロワタシ」鼻(ドワタシ鼻) ト改ム
131	16	* 五郎ノ島 ヲ 五郎ヶ島 ト改ム
131	17次	* 次ノ通追加ス 松島水道ノ西側ニハ西泊泊地アリ載炭船舶錨泊シテ荷役ヲ行フ、炭坑ハ濱泊ニ在リテ東松島炭鑛會社ノ經營ニ屬シ海岸ニ其ノ積出用棧橋アリ。
134	15	34分 ヲ 削除ス
135	11	立デテ ヲ 立テテ ト改ム
136	14	1,489.89 ヲ 1,389.89 ト改ム
137	24	ノ末尾ニ次ノ通追加ス ◎昭和5年7月18日ノ暴風雨通過ニ際シ港内ニ於テ沈没セルモノ汽船3隻發動機船其ノ他121隻ニ及ビ在泊船舶ノ殆ド全部(407

頁	行	記 事
		隻)ハ皆多少ノ損傷ヲ蒙リシト謂フ。
139 140	28至3	40度57分 以下 ◎其ヨリ 迄ヲ次ノ通改ム
		40度若ハ以東ニ保視スルヲ要ス、然ルトキハ高島以南ノ諸險ノ西方ヲ航シ得ベシ、既ニ高島ノ西方ニ達セバ適宜變針シテ香焼出シノ西方約1哩ヲ過ギ次デ
140	4至5	118度27分 以下 353度8分 迄ヲ次ノ通改ム 113度ニ望ミ約3哩ヲ航シ、次デ中ノ島西端ト福田崎險崖西端トヲ一線 346度
140	9	2哩 以下ヲ 3哩ヨリ 119度ノ針路ヲ ト改ム
141	5	官設15箇 ヲ次ノ通改ム 官設13箇、三菱造船所所有2箇及「スタンダード」石油會社所有1箇
143	4	* 2年 ヲ 5年 ト改ム
143	5至8	* ヲ次ノ通改ム 移出 25,324,643圓 綿絲、乾魚、絹織物、米、鐵、煙草等。 移入 42,720,642 鮮魚、棉花、乾魚、米、石炭、砂糖等。 輸出 9,771,941 石炭、綿織絲、電氣機械、精糖等。 輸入 17,480,298 原油及重油、線綿、礦油、硫酸安母尼亞等。
143	10至13	* ヲ次ノ通改ム 外國貿易 汽 船 435 1,412,607 (汽 船 9,724 813,774 內國貿易 { 發動機船 12 2,750 帆 船 1,107 77,516
143	16	4週 ヲ 3週 ト改ム
143	17	14回 以下 香港間)ハ 迄ヲ次ノ通改ム 17回以上横濱ヲ發船シ、横濱、香港間(西廻)ニ於テ
143	18	10回 ヲ 11回 ト改ム

水
53

頁	行	記事
143	19	上海線ニ ヲ 上海線ヲ ト改ム
143	24	毎日 以下ヲ次ノ通改ム 毎月28回以上1年期間336回以上發船ス。
143	25至26	九州 以下 往復共 迄ヲ次ノ通改ム 横濱高雄線毎月2回往航、横濱「マニラ」線毎20日1回往航
144	19	* 港務部 ノ次ニ 市港灣部事務所、ヲ追加ス
144	22至23	人口 ノ記事ヲ次ノ通改ム 人口 人口204,626(昭和5年國勢調査)ニシテ大正14年國勢調査ニ比較スレバ15,555ノ増加ナリ。
148	28次	次ノ通追加ス 黒母瀨燈標 黒母瀨上ニ在リ○閃白光燈ニシテ毎3秒ニ1閃光ヲ發ス○光達距離7.5浬、明弧全度○燈高、礎上4.5米、平均水面上17.6米○構造、紅黒横線塗櫓形鐵造○無看守。
149	10	198度 以下ヲ 196度ニ、飯良崎ヲ271度ニ ト改ム
149	11	北角 以下ヲ 北端立岩ヲ僅ニ飯良崎ノ ト改ム
149	15	北角 ヲ 北端立岩 ト改ム
149	16	ヲ次ノ通改ム シテ該岩ヲ308度ニ望ミテ入進シ鼠島ヲ196度ニ
150	3	黒母瀨 ノ次ニ 燈標 ヲ追加ス
150	22至24	野崎島北角 以下 3.3鏈) 迄ヲ次ノ通改ム 「クスクリ」崎ヲ319度ニ、唐見崎鼻南東端ヲ61度ニ望ム水深約16.4米ノ處
151	1至2	3分 ヲ削除ス
151	3,7	311 ヲ 310 ト改ム
151	6	40度56分 ヲ 41度 ト改ム
153	24	178度52分 ヲ 183度 ト改ム
153	26	浦 ヲ 村落 ト改ム

頁	行	記事
153	27	251度48分ニ望ム水深18米 ヲ 245度ニ望ム水深20米 ト改ム
153	28	232度7分 ヲ 233度 ト改ム
154	6	米岩アリ ノ次ニ 百貫瀨ト稱ス ヲ追加ス
155	14次	次ノ通追加ス 萱場埼夜標 萱場埼内方ニ高潮面上約30米ナル不動白光燈(村落ノ燈火)存在シ夜間航行船舶ノ爲好目標ト爲ルト謂フ。
156	20	「マナコ」 ヲ 「ママコ」 ト改ム
156	26	人口約9,000 ヲ次ノ通改ム 昭和5年國勢調査ニ依レバ有川村ノ人口8,824
158	10次	次ノ通追加ス 水底電線 重石ノ北西方ナル若松郷小字菜切ヶ浦ト其ノ對岸ナル宿ノ浦小字「ボツボケ」浦トノ間ニ水底電線1條アリ、線條ノ左右各30米以内ヲ以テ線路區域ト指定シアリ。
161	3	五島 ノ次ニ 佐世保 ヲ追加ス
165	22	投鉛 ヲ 測深 ト改ム
166	7	寄港 ヲ 入港 ト改ム
166	24	* (東洋燈臺表上卷參照) ヲ削除ス
166	25	* 1卷 ヲ 第3卷 ト改ム
167	4	過グル後299度45分 ヲ 過ギタル後300度 ト改ム
167	22至23	* ○灣首 以下ヲ削除ス
167	26	* 「バハン」瀨ト稱スル 以下ヲ次ノ通改ム 八幡瀨(バハン)ト稱スル干出2.1米岩アリ○八幡瀨ヨリ94度3鏈ニ
167	27	* 礁上水深 以下ヲ次ノ通改ム 最小水深0.9米○「ガメ」瀨ヨリ121度2.5鏈ニ米ヶ曾根(コメガツネ)ト稱スル淺礁アリ礁上水深6.6米。
167	28至	* 多岩ナレドモ處々ニ小沙濱アリ ヲ 多岩ナリ ト改ム
168	1	

水
53

頁	行	記 事
168	3	ノ末尾ニ ◎富江港ハ農林省補助漁港ナリ。ヲ追加ス
168	5	* 長崎測候所富江観測所 ヲ 中央氣象臺附屬富江測候所 ト改ム
168	6	* ノ末尾ニ次ノ通追加ス 測候所屋上ニハ夜間観測用ノ爲隨時電燈ヲ點ズ◎測候所ノ南方至近ニ富江無線電信局ノ無線電信柱2基アリテ好目標ヲ呈ス。
168	9, 11	* 竹ノ子島 ヲ 竹ノ小島 ト改ム (3箇所)
168	9至10	* 亦矮松疎生ス ヲ 松樹茂ル ト改ム
168	16至18	* ヲ次ノ通改ム 立標 沖ノ黒瀨最南岩上ニ「コンクリート」造黒塗立標アリ又町ノ北東角ニ接スル「沖ノガン瀨」ト稱スル干出岩上ニモ「コンクリート」造小立標アリ。
168	20	* 6.8米 ヲ 5.4米 ト改ム
168	23次	* 次ノ通追加ス 小白瀨ヨリ111度3鏈ニ水深11米ノ極メテ尖頂ヲ有スル暗岩アリ、又「カストラ」鼻ヨリ220度8鏈港口中央ニ水深11.8米ノ礁アリ「カストラ曾根」ト稱ス。
168	27	* ノ末尾ニ次ノ通追加ス 但シ此ノ錨地ニ至ル途中ニ於テ「カストラ曾根」ニ留意スルヲ要ス。
169	5至7	* 黒島北角ヲ 以下 見ルベシ 迄ヲ次ノ通改ム 大白瀨ヲ325度ニ見ルニ及ンデ之ニ向ツテ進ミ
169	9	* 美漁島(ビロウ) ヲ 「ビロウ」島 ト改ム
169	11	* 小白瀨ノ南西方約7鏈ニ在リ ヲ 沖ノ黒瀨北東岩上ニ設クト改ム
169	14次	* 次ノ通追加ス 防波堤燈竿 防波堤西端ニ設ク◎不動紅光燈ニシテ明弧全度◎燈高、平均水面上7.8米◎構造、四角柱「コンクリート」造◎無

頁	行	記 事
		看守、町立。
169	16	* ヲ北西方へ 以下 286.3米 迄ヲ次ノ通改ム ノ北西端ヨリ320度へ137米其ヨリ291度へ333米
169	26	* ノ末尾ニ次ノ通追加ス ◎富江ト對岸大濱トノ間ニハ毎日數回發動機船ノ往復連絡アリテ其ヨリ富江ニ自動車ノ便アリ。
169	28次	次ノ通追加ス 富江無線電信局 逓信省所管ノ固定局ニシテ呼出符字JXI。
170	1	* 長崎測候所富江観測所 ヲ 中央氣象臺附屬富江測候所 ト改ム
170	2	12,701 (大正14年 ヲ 12,288 (昭和5年 ト改ム
170	3	* 毛通岩(モウツウ) ヲ モウツ岩 ト改メ 16 ヲ 14 ト改ム
170	4	* 9.2米 ヲ 10米 ト改ム
170	8	* 美漁島(ビロウ) ヲ ビロウ島 ト改ム
170	9	* 美漁島 ヲ 「ビロウ」島 ト改ム
170	12	* 31米 ヲ 8米 ト改メ 12米 ヲ 11米 ト改ム
170	18	* ニ在ル ノ次ニ 3箇ノ ヲ追加ス
170	25	* 146米 ヲ 144米 ト改ム
171	6次	* 次ノ通追加ス 夜標 福江町北部ノ川口北側防波堤先端舊燈明臺ノ北ニ接シ高低2箇ノ白色電燈アリテ夜間船舶ノ目標ト爲ル◎長手村落西方山腹著松ノ東側ニ白色電燈1箇アリテ又夜間福江入港船舶ノ好目標タリ。
171	7至8	榮螺島 以下 30分 迄ヲ次ノ通改ム 庖丁島ノ東端ヲ2度、舊城趾ノ中學校ヲ243度
171	8, 11	陂 ヲ 波 ト改ム

水
53

頁	行	記 事
171	21	兩 ヲ 南 ト 改ム
171	22	(未完成) ヲ 削除ス
172	7	南松浦郡 ヲ 長崎縣南松浦 ト 改メ 9,892 以下ヲ 10,562 (昭和5) ト 改ム
178	6	3,654 (大正14年 ヲ 2,098 (昭和5年) ト 改ム
178	9次	* 野母崎燈臺 樺島南西端附近ニ設ク、閃白光燈ニシテ毎20秒ニ1閃ヲ發ス、光達距離28浬○明弧231度至167度間但シ野母半島ノ北西方海面ニ於テ125度至167度間同半島ノ爲遮蔽セラルル部分アリ○燈高、礎上11.8米、平均水面上127米○構造、白塗圓筒形「コンクリート」造。
179	15	人口1萬餘 ヲ 昭和5年國勢調査ニ依レバ人口10,569ヲ有シト 改ム
180	20	229度58分 ヲ 230度 ト 改ム
180	23	9,219 (大正14年 ヲ 9,258 (昭和5年) ト 改ム
184	15	* 2年 ヲ 5年 ト 改ム
184	16至17	* ヲ 次ノ 通 改ム 移出 405,369圓 繭、食鹽、肥料等。 移入 995,549 肥料、繭、食鹽、煙草、和洋酒、米等。
184	19	* ヲ 次ノ 通 改ム 輸入 21,813 雜品。
184	21至24	* ヲ 次ノ 通 改ム 外國貿易 汽 船 0 — (汽 船 3,071 139,465) 發動機船 373 19,916 帆 船 2,228 128,156
185	6	8,634 (大正14年 ヲ 8,711 (昭和5年) ト 改ム
185	12次	次ノ 通 追 加 ス

頁	行	記 事
		水底電線 横曾根北東方西有家町字松原ト天草下島佐伊津村字城廻トノ間ニ水底電線1條ヲ敷設シ、兩陸揚地ヨリ沖合2.2浬迄ハ線條ノ左右各40米以内、其ノ他ハ各180米以内、佐伊津側ハ陸揚地ヨリ沖合1,200米ニ至ル間ニ限リ各25米以内ヲ以テ線路區域ト指定シアリ。
186	23	* 2年 ヲ 5年 ト 改ム
186	24至25	* ヲ 次ノ 通 改ム 移出 1,291,963圓 食鹽、綿織物、米等。 移入 2,691,278 煙草、食鹽、肥料、米、石炭等。
186	27至29	* ヲ 次ノ 通 改ム (汽 船 2,780 189,040) 發動機船 2,300 24,300 帆 船 10,500 25,200
187	5至6	19,765 (大正14年 ヲ 21,540 (昭和5年) ト 改ム
187	18次	次ノ 通 追 加 ス 峯ノ洲挂燈浮標 峯ノ洲南端上ニ在リ○閃白光燈ニシテ毎4秒ニ1閃光ヲ發ス○光達距離9浬、明弧全度○燈高、水面上4.6米○構造、黑白横線塗圓筒形、上部ニ格子製櫓ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲グ。
187	23	* ノ 末 尾 ニ 次 ノ 通 追 加 ス ○昭和6年8月三井物産會社汽船高雄山丸ノ報告ニ據レバ第3號立標ノ42度6鏈ノ點ヨリ南方ヘ約1鏈ノ間水深減少ノ疑アリ、此ノ附近ニ甚ダ低キ低潮ニハ干出スル箇所アリト謂フ。
187	23次	* 次ノ 通 追 加 ス 昭和7年3月同社汽船葛城山丸(總噸數2,428噸)ノ報告ニ據レバ住ノ江港ノ最淺箇所ハ住ノ江川口黑色浮標ト第1號立標トノ中間ニ在リテ實際ハ海圖ニ示ス水深ヨリハ稍多ク最低ノ低潮ニ於テ

水
53

頁

行

記 事

約1米ヲ保ツモノノ如シ、錨地ニ驗潮尺アリテ此ノ最淺箇所ノ水深(實際ノ水深ヨリ2吋低キ値)ヲ示ス、實驗上高潮ノ際大潮時ニハ約6.4米小潮時ニハ約4.6米ノ吃水ヲ有スレバ此ノ箇所ノ通航可能ナリト謂フ。

187 24

* ノ末尾ニ次ノ通追加ス
但シ船津川口西方海岸地先埋立ノ實現ニ因リ港界起點ニ變化ヲ來セリ。

187 26次

* 次ノ通追加ス
錨地 住ノ江川ノ屈曲セル部分即チ繫船浮標位置附近ハ水深最大ニシテ最高ノ高潮ニ於テ約15米アリ川中最良ノ錨地トス、但シ低潮ノトキニ於テ川幅約150米ニ過ギズ又底質軟泥錨搔キ不良ナリ。

浮標ニ繫留船アルトキハ浮標下流300米位迄ノ間ヲ以テ適宜空船ノ錨地ニ充テ得ルモ偏南又ハ偏北ノ風力強キトキハ往々走錨ニ因リ對岸ニ坐洲スルコトアリ殊ニ低潮ノ場合ニ於テ然リトス。

187 27

2哩 ヲ 3哩 ト改ム

188 3次

* 次ノ通追加ス
針路法 前記黒塗浮標ヲ距ルコト約 $\frac{1}{2}$ 鏈ノ處ヲ航過シタル後第1號立標ノ東方約 $2\frac{1}{2}$ 鏈及第3號立標ノ東方約 $1\frac{1}{2}$ 鏈ノ處ヲ經テ25度ニ向ヒ第5號立標ト三丁川口西側南東角トヲ一線ニ見ルトキ8度ニ變針シ第5號立標ノ東方竝ニ第2號立標ノ西方各 $\frac{3}{4}$ 鏈ノ處ヲ經テ爾後2立標一線3對ノ各線上ヲ順次ニ航シタル後錨地ニ至ル。

188 4至5

* 繫船浮標 ノ記事ヲ次ノ通改ム
繫船浮標 汽船用繫船浮標3箇及帆船用繫船浮標7箇アリ、現在總噸數2,500噸程度ノ汽船ハB繫船浮標ノミヲ使用シ他ノ浮標ハ水深淺キ爲使用シ得ズト謂フ。

頁

行

記 事

188 5次

* 次ノ通追加ス
繫船法 船舶ハ双錨泊ヲ行ヒ船尾ヲ繫船浮標ニ繫留スルモノトス依ツテ同一繫船浮標ニ入船繫留船及出船繫留船各1隻ヲ繫留スルコトヲ得、曳船其ノ他繫留及解纜ノ補助機關ナシ。
出船繫留ハ漲潮流速ノ相當アルトキ、入船繫留ハ落潮流速ノ若干アルトキニ非ザレバ實施困難ナリ殊ニ風力3以上ノトキハ川岸ニ壓流セラレ爲ニ坐洲スルコトアリ、然レドモ川底ハ軟泥ナルヲ以テ自力離洲困難ナラズ。

低潮ノ際ハ繫留不能ナリ。

188 12

* 2隻 ヲ 1隻 ト改ム

188 14

* 2年 ヲ 5年 ト改ム

188 15至18

* ヲ次ノ通改ム
移出 2,076,260圓 石炭、内地米。
移入 285,277 雜品。
輸出 352,006 石炭。
輸入 208,171 豆糟等。

188 20至23

* ヲ次ノ通改ム
外國貿易 汽 船 23 31,951
内國貿易 { 汽 船 198 182,942
帆 船 3,204 83,212

188 26

* 182頁參照、ノ次ニ次ノ通追加ス
水先人港外ニテ乗船スル場合ニハ通例住ノ江川口黒色浮標附近ニ於テス

190 3

* 2年 ヲ 5年 ト改ム

190 4至5

* ヲ次ノ通改ム
移出 4,065,799圓 菜子油、米、罐詰食料、清酒、陶器等。
移入 1,935,370 金屬及同製品、木材、藥品、「メリヤス」等。

頁	行	記	事									
190	7至9	* 次ノ通改ム										
		内國貿易	<table border="1"> <tr> <td>汽船</td> <td>153</td> <td>48,042</td> </tr> <tr> <td>發動機船</td> <td>70</td> <td>2,155</td> </tr> <tr> <td>帆船</td> <td>440</td> <td>7,017</td> </tr> </table>	汽船	153	48,042	發動機船	70	2,155	帆船	440	7,017
汽船	153	48,042										
發動機船	70	2,155										
帆船	440	7,017										
190	12		大正14年 以下ヲ 昭和5年國勢調査ノ人口97,298ニ達セリ。ト改ム									
191	8	* 1.5 哩	ヲ 3 籽 ト改ム									
192	24	* ノ末尾ニ次ノ通追加ス										
			◎深吃水船ハ出入ニ際シ高潮時ヲ待ツノ要アリ。									
193	10次	* 次ノ通追加ス										
		突堤照明燈	北突堤上ニハ燈臺位置ニ於ケル第1號ヨリ内港ニ近キ第13號ニ至ル7箇ノ奇數番號照明燈、又南突堤ニハ第2號ヨリ第12號ニ至ル6箇ノ偶數番號照明燈ヲ設ケ夜間船舶出入時ノミ突堤ヲ照射ス、何レモ不動白光電燈ニシテ突堤以外ヲ照射セズ燈高、礎上約10米、平均水面上12.9米。									
193	18	* 2年	ヲ 5年 ト改ム									
193	19至22	* 次ノ通次ム										
		移出	8,812,619 ^噸 亞鉛、藥品、硫酸安母尼亞、石炭等。									
		移入	11,834,173 砂糖、鐵管、鐵、硝石、輕油等。									
		輸出	9,116,881 石炭、「コールタール」、「ピッチ」、染料等。									
		輸入	2,715,232 亞鉛鑛、砂糖、石炭、亞鉛錠粒、精米等。									
			(註) 昭和5年ニ於ケル石炭積出額總計796,691噸ナリ。									
193	24至26	* 次ノ通改ム										
		外國貿易	<table border="1"> <tr> <td>汽船</td> <td>644</td> <td>2,075,877</td> </tr> </table>	汽船	644	2,075,877						
汽船	644	2,075,877										
		内國貿易	<table border="1"> <tr> <td>汽船</td> <td>1,102</td> <td>627,052</td> </tr> <tr> <td>發動機船</td> <td>31</td> <td>3,506</td> </tr> <tr> <td>帆船</td> <td>81</td> <td>11,165</td> </tr> </table>	汽船	1,102	627,052	發動機船	31	3,506	帆船	81	11,165
汽船	1,102	627,052										
發動機船	31	3,506										
帆船	81	11,165										
193	28至	但シ 以下	操縦ス 迄ヲ次ノ通改ム									
194	1											

頁	行	記	事
			他ニ 三井鑛山會社ノ囑託トシテ 船渠長ヲ兼務スル 水先人1名アリ、内港岸壁及船渠内ノ繫船作業ハ船渠長ノ所掌ニ屬シ無料ナリ
194	8		三井鑛山會社、ノ次ニ 同社 ヲ追加ス
194	24次	* 次ノ通追加ス	
		熊本放送局	熊本市外清水村龜井灰塚ニ送信所アリ、呼出符字J O G Kニシテ放送無線電話ニ依リ時報ヲ行フ(水路誌附録第3卷参照)。
195	6	ノ末尾ニ次ノ通追加ス	
			◎夏季大雨後ハ島原海灣北部ヨリノ雨水ノ爲水量加ハリ大瀬戸ノ落潮流ノ速サヲ増シ三角燈臺下海岸ニ沿ヒ西方へ流ルルモノ相當強キ爲同方向ニ壓流セララルル危険アルベキヲ以テ同季大潮ノ落潮時ノ大瀬戸通過ハ特ニ注意ヲ要スト謂フ。
195	23次	* 次ノ通追加ス	
			昭和6年樺太汽船會社汽船惠須取丸ノ報告ニ據レバ同船際崎ノ出入港ニ當リテハ三角瀬戸ヲ同港高低潮時ノ1時間前ニ通過スルヲ常トシ同時刻頃ハ轉流直前ト覺シク高低潮時ノ40分前ト爲レバ既ニ轉流後ト爲ルヲ認ム、右ハ春、夏、秋各季ニ於テ同船ノ數回經驗セル所ニシテ同地方ニ於テハ四季ヲ通ジテ同瀬戸ノ轉流時ヲ同港高低潮時ノ1時間前ト概算シ又各船共出入港ノ際此ノ時刻ヲ選ビ居ルヲ聞知セリト謂フ。
196	9次	次ノ通追加ス	
			南方ヨリ藏藏ノ瀬戸ヲ通過シ三角ニ入港スル場合ニハ同瀬戸外方ニ近ヅクニ從ヒ「イゲ」瀬上ノ1軒家ト玄能島上ノ松林トヲ一線ニ見テ(此ノ線ヨリ片島側ニ寄ラザル程度ニ)航行シ藏藏村落北岸ヲ左舷正横ニ見ル頃ヨリ變針シテ網取瀬ヲ避航シ、寺島燈標ト兜島トノ中間ニ向ヒ同立標ヨリ三角70米山ニ向首ノ後適宜錨地ニ向フベシ。

頁 行 記 事

196 10 **三角港** ノ次ニ (海圖 194) ヲ追加ス

196 13 人口約 5,500 アリ、ヲ削除ス

196 14 ノ末尾ニ 南方際崎ニモ市街アリ。ヲ追加ス

196 15 ヲ次ノ通改ム

從來船舶ハ 三角市街ノ前面水深 10 米内外ノ處ヲ 錨地ト爲セシガ 地域狭ク潮流強ク且水深キ缺點アル爲現在ハ此ノ區域(三角本港) ヲ使用セズ際崎側海面ヲ以テ一般船舶ノ碇泊地ニ充テ海陸ノ設備 亦際崎ニ移サレタリ(汽船 5,000 噸級 9 隻ヲ收容シ得ト謂フ、但 シ繫船設備ナシ) ◎小型船舶ハ必要ニ應ジ三角市街ノ對岸

196 16 ノ末尾ニ次ノ通追加ス

◎昭和 6 年 4 月 14 日軍艦夕張ハ三角燈臺ノ 36 度 1,300 米ニ投錨 セシガ同艦ノ經驗ニ據レバ投錨目標トシテハ三角嶽ハ高キニ過ギ テ適當ナラズ三角燈臺及瀬戸ノ鼻 (39 △) ヲ適當トシ猶潮流強キ 場合ニハ同燈臺ニ向首投錨スルヲ可トスベシト謂フ。

196 16次 次ノ通追加ス

三角驛附近際崎海岸ニ 上陸用浮棧橋 1 箇 アリ、長サ 66 米橋側水 深 2 米ニシテ九州汽船會社ノ所有ニ屬ス。

196 22次 次ノ通追加ス

荷役設備 舢舨約 100 隻 (3,000 噸) アリ、陸上ノ起重機能 力現在ハ約 3 噸ナリト謂フ◎倉庫ハ三角市街側ニ民營 10 棟 (404 坪)、際崎側ニ民營 11 棟 (450 坪) アリ。

196 23至24 **物資** ノ記事ヲ次ノ通改ム

物資 際崎側ニ於ケル物資補給ノ概況下ノ如シ。

石炭 當港出入船舶ハ多ク三池ニテ補炭ス、特ニ注文スレ バ三池ヨリ回送ス。

清水 陸上ニ 水道アルヲ以テ多量ノ 供給ヲ爲スコトヲ得、 給水船 (25 乃至 30 噸積) 3 隻アリ。

頁 行 記 事

糧食 米、魚、野菜其ノ他一般ノ食料品ヲ供給シ得。

196 25 * 2 年 ヲ 5 年 ト改ム

196 26至 1 * ヲ次ノ通改ム

移出 2,918,294 噸 絹及綿織物、文房具、豆糟、大豆、煙草等。

移入 5,206,985 木材、「パルプ」、大豆、藥品等。

輸出 617,255 硫酸安母尼亞、印刷料紙等。

輸入 2,161,561 豆糟、磷礦石、小豆、大豆、澱粉等。

197 3至 6 * ヲ次ノ通改ム

外國貿易	汽 船	32	63,141
内國貿易	汽 船	4,172	605,543
	發動機船	7,041	12,493
	帆 船	3,880	32,876

197 10 * 182 頁參照 ノ次ニ次ノ通追加ス

水先人ハ普通瀬詰崎若ハ五通礁附近ニ於テ乘船スルモ南方ヨリ來 ル船舶ハ特ニ乘船地點ヲ指定シ置クヲ要ス

197 12次 次ノ通追加ス

官憲等 三角ニハ町役場、警察署、郵便局、際崎ニハ郵便局、 稅關支署、警察水上派出所等アリ◎三角町ノ人口 5,844 (昭和 5 年 國勢調査) アリ。

199 4 船人島ト ノ次ニ ノ間 ヲ追加ス

200 24至25 6,251 (大正 14 年 ヲ 7,173 (昭和 5 年 ト改ム

201 6 ノ末尾ニ次ノ通追加ス

◎又本渡町ノ北方佐伊津村字城廻ト湯島瀬戸ヲ隔テタル對岸西有 家町字松原トノ間ニ 水底電線 1 條ヲ 敷設シ、兩陸揚地ヨリ沖合 2.2 哩迄ハ線條ノ左右各 40 米以内、其ノ他ハ 180 米以内、佐伊津 側ハ陸揚地ヨリ沖合 1,200 米ニ至ル間ニ 限り各 25 米以内ヲ以テ 線條區域ト指定シアリ。

頁	行	記 事
201	16	3,296 (大正 14 年 ヲ 3,192 (昭和 5 年 ト改ム
203	4	大曾根 ノ次ニ (海圖 192) ヲ追加ス
203	7	島原瀬 ノ次ニ (海圖 192) ヲ追加ス
207	8	長島 ノ次ニ (海圖 178) ヲ追加ス
208	10	略低潮 (高潮) 時ヨリ ヲ次ノ通改ム 八代海ノ略低潮 (高潮) ヲリ八代海ノ
210	6	333 度 39 分 ヲ 334 度 ト改ム
210	7	ノ末尾ニ次ノ通追加ス ◎昭和 6 年 4 月 16 日軍艦夕張ハ臺場ノ鼻ノ 115 度 960 米ノ處ニ 碇泊セシガ流潮ノ影響少ク錨搔キ良好ナリシト謂フ。
210	15 次	次ノ通追加ス 針路法 針路 315 度ヲ以テ勝埼ニ向首シ次ニ 295 度ニテ臺場 ノ鼻ニ向ヒタル後適宜錨地ニ就ケバ諸險ヲ避クルコトヲ得。
210	17 次	次ノ通追加ス 牛深港燈竿 牛深町附近山頂ニ 5 箇ノ燈竿アリ、何レモ不動 白光燈ニシテ礎上ノ燈高 8.5 米、明弧全度、塗裝セザル木造竿柱 上ニ在リテ無看守ナリ、其ノ他ノ要目下ノ如シ。 第 1 號燈竿 平均水面上 122.8 米 光達距離 8½ 湮 第 2 號燈竿 " 88.9 米 " 6½ 湮 第 3 號燈竿 " 48.7 米 " 6½ 湮 第 4 號燈竿 " 58.8 米 " 6½ 湮 第 5 號燈竿 " 99 米 " 8½ 湮 燈竿ノ番號ハ北方ヨリ南方ニ向ヒ順次ニ附シアリ。
210	22	12,030 (大正 14 年 ヲ 12,671 (昭和 5 年 ト改ム
219	21	74 度 47 分 ヲ 75 度 ト改メ 2 分 ヲ削除ス
219	28	* 2 年 ヲ 5 年 ト改ム
220	1 至 2	* ヲ次ノ通改ム

頁	行	記 事
		移出 1,912,395 圓 「セメント」、礦油、米等。
		移入 2,043,103 木材、肥料、鮮魚介、石炭、和酒等。
220	4 至 6	* ヲ次ノ通改ム 内國貿易 { 汽 船 4,006 193,515 發動機船 12 1,020 帆 船 11,440 65,471
220	7	12,904 (大正 14 年 ヲ 13,513 (昭和 5 年 ト改ム
220	15	此ノ島ノ ヲ 此ノ島ハ ト改ム
221	10	5,276 (大正 14 年 ヲ 5,362 (昭和 5 年 ト改ム
221	17	5 湮 6.5 鏈 ヲ 約 6 湮 ト改ム
221	20	田浦灣 ノ次ニ (海圖 174) ヲ追加ス
222	6, 7, 8	白神岩 ヲ 白神瀬 ト改ム (4 箇所)
222	13	8,507 (大正 14 年 ヲ 8,943 (昭和 5 年 ト改ム
223	17 至 19	* ヲ次ノ通改ム 水俣川 (ミナマタ) 水俣川ハ佐敷灣ノ南西方約 6 湮ニ於テ 水俣町ヲ貫流シ 2 派ニ分レテ海ニ入ル、川口外ハ灣形ヲ成スモ低 潮ニハ全部干出スルヲ以テ船舶ハ此ノ灣外ニ錨泊セザルベカラ ズ、高潮時ニハ小舟ノミ浜リ得。
223	20	* ニハ小舟ハ浜リ得ベシ◎ ヲ次ノ通改ム 水俣町 上記
223	21	23,769 (大正 14 年 ヲ 25,776 (昭和 5 年 ト改ム
223	24	此ノ地 ヲ 水俣町 ト改ム
223	26 次	* 次ノ通追加ス 水俣港 熊本縣ニ於テハ明神埼南方ノ小灣ヲ水俣港ト命名シ 延長 91 米ノ防波堤ヲ築設シ港内水深ヲ 1.8 乃至 4.8 米ニ浚渫シ 1,000 噸級 4 隻及 300 噸級 5 隻ノ汽船ヲ同時ニ岸壁ニ繫留セシ メ得ル様設備スル計畫ヲ立テ昭和 4 年縣費支辨港灣ニ編入シタル

頁	行	記 事																
		モ未ダ修築實現ノ域ニ達セズ、水俣驛ハ此ノ港ニ近キ處ニ在リ。																
223	27	* 地方暴風標 ノ記事ヲ次ノ通改ム 地方暴風標 水俣川口ノ西方丸島村落ノ西隣ナル高サ40米ノ丘上ニ在リ。																
223	28	* 圓錐形山ノ南西側海岸ニ在ル丸島村ハ ヲ丸島村落前面ニト改ム																
224	欄外	* 178 ヲ 174 ト改ム																
224	2	* 水俣浦 ヲ 上記40米丘 ト改ム																
224	5至7	* ヲ次ノ通改ム 梅戸港 二子島ト明神埼トノ間ニ在リテ日本窒素肥料會社ノ専用港ナリ、港内南側ニ防波堤ト繫船岸壁トヲ有シ水深ハ汽船通路ニ於テ約9米アリ、岸壁ニハ2,000噸級汽船2隻ヲ繫留シ得、入港最大船ノ記録ハ3,600噸ニシテ昭和6年度ニ於ケル入港船舶隻數次ノ如シ。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>出荷關係</td> <td>{</td> <td>汽 船</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>帆 船</td> <td>879</td> </tr> <tr> <td>入荷關係</td> <td>{</td> <td>汽 船</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>帆 船</td> <td>600</td> </tr> </table> 入港船舶ノ目標トシテ繫船岸壁背後ノ丘上ニ750燭光ノ電燈1箇ヲ點ズ。 少量ノ井水アルノミニシテ汽船ニ給水スル設備ナシ。	出荷關係	{	汽 船	140			帆 船	879	入荷關係	{	汽 船	89			帆 船	600
出荷關係	{	汽 船	140															
		帆 船	879															
入荷關係	{	汽 船	89															
		帆 船	600															
224	8至10	* 明神埼 ノ記事ヲ次ノ通改ム 明神埼 二子島ヨリ南西方約5鏈ニ於テ南西方へ突出セル狭長卑低ノ岩角ニシテ梅戸港ト水俣港トノ境界ヲ成ス。																
225	6	◎ ノ次ニ 南防波 ヲ追加ス																
225	6次	次ノ通追加ス 米ノ津北防波堤燈臺 北防波堤端ニ在リ◎不動白光燈◎光達																

頁	行	記 事
		距離8哩、明弧全度◎燈高、礎上6米、平均水面上9.4米◎構造、白塗四角形檣形鐵造◎無看守、縣立。
225	8	14,127 (大正14年 ヲ 14,930 (昭和5年 ト改ム
225	11至12	ヲ20行ノ次ニ移ス
226	1至2	* ヲ削除ス
227	4	戸崎 ノ次ニ 鼻 ヲ追加ス
228	10	21,187 (大正14年 ヲ 22,897 (昭和5年 ト改ム
230	13	ノ末尾ニ ◎串木野ハ農林省補助漁港ナリ。 ヲ追加ス
230	15	23分 ヲ削除ス
230	16	22分 ヲ削除ス
231	1	鼻 ヲ 端 ト改ム
231	4,5	13分 ヲ削除ス
235	8至9	其ノ附近 以下 ◎ 迄ヲ次ノ通改ム 下甌村ノ主村落ナリ、下甌村ハ手打ノ外長濱、青瀬、片之浦及瀬々浦等ノ村落ヲ含ミ人口總計12,383 (昭和5年國勢調査)アリ◎手打ニ於ケル
238	23	多岩アリ ヲ 岩多シ ト改ム
238	28	距濱 以下 又 迄ヲ次ノ通改ム 浦ノ中央ヲ通ジ水底電線敷設シアルヲ以テ適當ナル錨地ヲ求ムルコト難シ、
240	22	航通 ヲ 通航 ト改ム
241至247	欄外	* 189 ヲ 1222 ト改ム
241	14	投鉛 ヲ 測深 ト改ム
246	13	側 ヲ 測 ト改ム
246	19次	次ノ通追加ス 枕崎港島堤燈臺 延長約94米ナル新設防波堤ノ西端ニ在リ◎不動紅光燈、明弧全度◎光達距離11.5哩◎燈高、礎上9米、

頁	行	記 事
		平均水面上 11.6 米 ○構造、圓形「コンクリート」造 ○無看守。
247	2	24,920 (大正 14 年) ヲ 27,239 (昭和 5 年) ト改ム
247	25 至 26	ヲ次ノ通改ム ル、此ノ岬ヨリ稍離レタル東西兩側ニ於テハ 200 米等深線ハ距岸約 5 湊ニ存在スルニ反シ此ノ岬附近ニ在リテハ距岬僅ニ 1 湊ノ處モ既ニ水深 200 米ヨリ深シ。
248 至 268	欄 外	* 189 ヲ 1221 ト改ム
248	14	247 頁 ヲ 上掲潮流及海流ノ記事 ト改ム
249	9 至 19	ヲ削除ス
250	1	15 分 ヲ削除ス
250	22	* 2 年 ヲ 5 年 ト改ム
250	23 至 24	* ヲ次ノ通改ム 移出 2,546,029 圓 内地米、木材、葉煙草、生絲、菓子等。 移入 2,929,528 藥品、石炭、肥料、製造煙草等。
250	26 至 28	* ヲ次ノ通改ム 内國貿易 { 汽 船 3,412 273,775 發動機船 148 9,620 帆 船 806 25,794
252	21	人口 10,221 (大正 14 年) ヲ 山川町ノ人口 11,363 (昭和 5 年) ト改ム
255 256	27 至 1	* ヲ削除ス
257	6	* 2 年 ヲ 5 年 ト改ム
257	7 至 10	* ヲ次ノ通改ム 移出 33,912,650 圓 煙草、米、綿織物、藥品等。 移入 31,243,757 綿織物、砂糖、煙草、米、鮮魚介等。 輸出 193,645 菓子油等。 輸入 5,324,710 獸骨、豆類、菓子糟、豆糟、碎米等。

頁	行	記 事
257	12 至 15	* ヲ次ノ通改ム 外國貿易 汽 船 100 180,829 { 汽 船 7,388 613,115 發動機船 7,491 131,331 帆 船 250 7,486
257	16 至 18	ヲ次ノ通改ム 交通 鹿兒島港ヲ起點、終點又ハ寄港地トスル命令航路下ノ如シ。 線名 回数 起點港終點港 受命者 遞信省命令航路 鹿兒島那覇線 每週 2 回以上 1 年期間 104 回以上 鹿兒島那覇 大阪商船會社 { 五箇島線 毎月 3 回以上 1 年期間 42 回以上 名瀬(大津) 大洋商船會社 { 十島線 毎月 1 回以上 1 年期間 12 回以上 鹿兒島 大洋商船會社 { 種子島線 毎月 12 回以上 1 年期間 144 回以上 鹿兒島宮ノ浦(鹿兒島) 鹿兒島商船會社九州商船會社 上記ノ外鹿兒島港ヲ出入スル定期船ニハ下記各線アリ。 線名 回数 經營者 大阪鹿兒島線 每奇數日大阪發 每偶數日鹿兒島發 大阪商船會社 大島各島線(鹿兒島與論島間) 毎月約 9 回 "
257	21 至 25	* 鹿兒島無線電信局 ノ記事ヲ次ノ通改ム 鹿兒島無線電信局 送信所ハ市ノ北方吉野村又受信所ハ市内山下町ニ在リ、海岸局(呼出符字 JKB) 兼固定局(呼出符字 JKA, JKG, JKB, JBK) ニシテ海上氣象電報式ニ依リ氣象放送ヲ行フ(水路誌附録第 3 卷參照)。 258 5 124,734 (大正 14 年) ヲ 137,236 (昭和 5 年) ト改ム 262 欄 外 221 ヲ削除ス 262 2 ノ末尾ニ次ノ通追加ス



但シ志布志町前面ニ於テハ本頁記載ノ暗岩區域アルヲ以テ注意ヲ要ス、猶長濤來襲スルトキハ特ニ志布志町前面ニ在リテハ錨泊中ト雖モ船體ノ動搖ヲ免レズ。

262

11

ノ末尾ニ次ノ通追加ス
○猶昭和6年9月上記10.5米暗岩ヨリ117度1,700米水深20米ノ地點附近海底ニモ岩礁多ク特ニ錨鎖ノ搦ミ易キ岩アルヲ發見セリ、依ツテ此ノ附近ハ錨地トシテ不適當ナルヲ知ルベシ。

262

11次

* 次ノ通追加ス
志布志港導燈 低燈高燈ノ2箇ヨリ成リ低燈ノ紅光分弧ハ鯖瀬及「カマ」瀬(名稱圖載シアラズ)等ノ危險區域ヲ標示ス、何レモ無看守ナリ。

低燈 權現島南東方防波堤南端ニ在リ○不動白光燈ニシテ紅光分弧アリ、光達距離11哩○燈高、礎上9.1米、平均水面上10.9米○明弧295度至0度間紅光、0度至15度間白光、15度至40度間紅光、40度至295度間白光○構造、白塗六角形鐵造櫓。

高燈 低燈ヨリ7½度508米ニ在リ○不動紅光燈ニシテ光達距離9哩○燈高、礎上6.1米、平均水面上58.4米○明弧全度○構造、紅塗竿柱。

志布志港口導燈 前燈後燈ノ2箇ヨリ成リ何レモ明弧全度ニシテ白塗菱形頭標附木造竿柱(塗裝セズ)上ニ掲ゲラレ無看守ナリ。

前燈 權現島東方約360米ニ在リ○不動綠光燈ニシテ光達距離5哩○燈高、礎上7.6米、平均水面上9.4米。

後燈 前燈ヨリ27度40分100.4米ニ在リ○不動紅光燈ニシテ光達距離5.5哩○燈高、礎上7.6米、平均水面上17.4米。

志布志港針路法 志布志築港内ニ入港セントスル船舶ハ志布志港導燈ノ低燈及高燈ヲ一線ニ望ミテ港口ニ進ミ同線上低燈ヲ距

ル約148米ノ點ニ達セバ志布志港口導燈ノ前後兩燈(綠紅燈)ヲ一線ニ望ミテ進行スベシ、然ルトキハ南防波堤端ノ西方約25米ニ在ル暗礁ヲ避クルヲ得ベシ。

志布志港ノ修築 大正8年12月縣費支辨港灣トシテ工事ニ着手シ長サ227米ノ南防波堤、154.5米ノ西防波堤及288米ノ防沙堤ヲ築造シ以テ港内總面積22,030坪ヲ得港内水深ヲ4.5米ト1.2米トニ浚渫シ12年ノ日子ヲ經テ漸ク昭和6年6月竣工ヲ見タリ。

志布志港入港船舶 昭和5年ニ於ケル志布志港入港船舶數量下ノ如シ。

	隻數	噸數
汽船	5,264	133,128
發動機船	129	8,127
262 12	17,497 (大正14年)	18,120 (昭和5年)
263 14	在リ、ノ次ニ	當港ハ農林省補助漁港ニシテ
263 24	飯埼以南ト	飯埼ト
263 28	約7哩、紅光約4哩	9哩、紅光6.5哩
264 9	防波堤頭燈竿	防波堤燈竿
264 10	ヲ次ノ通改ム	
264 15	○燈高、礎上7.8米、平均水面上10.5米	○構造、白塗四角形混凝土造
		○無看守、縣立。
	ノ末尾ニ次ノ通追加ス	
	○更ニ新ニ修築計劃ヲ樹テ縣營ヲ以テ	昭和6年起工昭和9年竣工
	ノ工事ヲ行フ豫定ナリト謂フ。	
264 22	* 2年	5年
264 23至24	* ヲ次ノ通改ム	
	移出 3,378,739	鮮魚介、木材、内地米、鯉節等。

頁	行	記 事
		移入 3,470,451 絹及綿織物、礦油、金屬製品、製造煙草等。
264	26至28	* ヲ次ノ通改ム
		内國貿易 { 汽 船 420 416,720 發動機船 44,823 939,140 帆 船 17 1,394
265	1次	次ノ通追加ス
		人口 油津町ノ人口 7,883 アリ (昭和5年國勢調査)。
267	21	此ノ瀬戸 ヲ 小戸ノ瀬 ト改ム
268	24至25	42,945 (大正14年 ヲ 54,600 (昭和5年 ト改ム
269	欄外	* 189 ヲ 1220 ト改ム
270至279	欄外	* 184 ノ次ニ 1220 ヲ追加ス
270	13次	次ノ通追加ス
		縣營ニ據ル港灣修築埋立工事完成シ鐵道引込線倉庫等ノ陸上設備アリ、埋立地ノ前面ニハ長サ約80米ノ新設浮棧橋アレドモ未ダ燈標ノ設備ナシ。
270	20	行數ヲ示ス數字 0 ヲ 20 ト改ム
270	22	山ノ瀬 ヲ 山ヶ瀬 ト改ム
271	4至5	* 白紅光燈 以下 1箇) 迄ヲ次ノ通改ム 白光燈2基 (各白光燈2箇)
271	7	* 突端 ノ次ニ 及中部 ヲ追加ス
271	10	* 2年 ヲ 5年 ト改ム
271	11至12	* ヲ次ノ通改ム
		移出 4,574,889 ^圓 藥品、硫酸安母尼亞、木炭、米、木材等。
		移入 4,121,061 金屬管、鑛物、機械類、和酒、古鐵等。
271	14至16	* ヲ次ノ通改ム
		内國貿易 { 汽 船 818 214,052 發動機船 3,972 59,466

頁	行	記 事
		帆 船 256 8,765
271	19	3,934 (大正14年 ヲ 4,103 (昭和5年 ト改ム
271	20	番所鼻 ヲ 町ノ中央觀音寺境内 ト改ム
271	21	アリ 以下ヲ ノ建物ヲ存ス。ト改ム
271	22	竹島 ノ次ニ 餘島 (島頂ニ著シキ1松樹アリ) ヲ追加ス
271	26	次ノ通改ム
		方約2.5鏈ニ龜瀨ト稱スル水深4.8米及5.1米ノ暗岩アリ、「イタイ」瀨ノ南方3鏈餘ニハ平瀨ト稱スル最小水深10.7米ノ淺礁アリ、又餘島ノ北北東方2鏈ニ高サ3.4米ノ露岩アリ「ユルギ」瀨ト稱ス。
		昭和5年ノ調査ニ依レバ灣首門川尾末村ノ人口11,117、村落ノ南端ニ近ク長サ200米ノ防波堤アリテ其ノ突端ニ高サ約7米ノ不動紅光燈ヲ有ス、此ノ村ヨリ野菜及魚類ヲ得ベシ。
271	26次	* 次ノ通追加ス
		漁網 尾末灣内ニハ多數ノ定置漁網アリ特ニ竹島及乙島ノ周圍ニ多シ。
271	28	茂生ス ノ次ニ次ノ通追加ス
		此ノ島ニ接シ立岩ト稱スル1岩屹立ス高サ52米ニシテ顯著ナリ、
271	28	23 ヲ 24 ト改ム
272	1	水深 以下ヲ次ノ通改ム
		中瀨ト稱スル水深6.2米ノ暗礁アリ、此ノ島ト其ノ東方約2鏈ニ在ル水深9.9米ノ暗岩トノ間ニハ水深1.4乃至5.6米ノ淺礁點在ス。
272	24	* 2年 ヲ 5年 ト改ム
272	25至26	* ヲ次ノ通改ム
		移出 1,068,039 ^圓 銅、鮮魚介、滿俺鑛、葉煙草、木材等。

頁	行	記 事
		移入 1,355,729 絹及綿織物、和洋酒、金屬製品、豆類等。
272	28 至	* ヲ次ノ通改ム
273	2	
		内國貿易 { 汽 船 1,826 822,378 發動機船 7,365 65,558 帆 船 742 23,690
273	3	1回 ノ次ニ 及大阪細島線ヲ航スル汽船毎日1回 ヲ追加ス
273	15	4,386 (大正14年 ヲ 30,897 (昭和5年 ト改ム
276	4, 7, 10	名古屋鼻 ヲ 名護屋鼻 ト改ム
279	3	3,866 (大正14年 ヲ 3,885 (昭和5年 ト改ム

頁	記 事
地名索引 2 頁左欄	* バハン瀨 ヲ 八幡瀨 ト改ム
" 2 頁左欄	* 美漁島 ヲ ビロウ島 ト改ム
" 2 頁右欄	* Dowatasi Hana ドワタシ鼻... 131 ヲ削除ス
" 3 頁右欄	* Gorô-no-Sima 五郎ノ島 ヲ Gorô-ga-Sima 五郎ヶ島 ト改ム
" 3 頁右欄	Haedomari 南風泊 ノ次ニ次ノ通追加ス
	Haenoha Se 南風ノ波瀨... 93
" 6 頁左欄	Hyakkan-isi Kô 百貫石港 ノ次ニ次ノ通追加ス
	Hyakkan Se 百貫瀨... 154
" 7 頁左欄	* 角島... 130 ヲ削除ス

頁	記 事
地名索引 8 頁右欄	Kawati Wan 川内灣 ノ次ニ次ノ通追加ス
" 12 頁左欄	Kayaba Saki 萱場埼... 155
" 12 頁右欄	Makurazaki Wan 枕崎灣 ノ次ニ次ノ通追加ス
" 12 頁右欄	Mamako Se ママコ瀨 ... 156
" 13 頁左欄	Mieke Kô 三池港 ヲ Miike Kô 三池港 ト改ム
" 13 頁左欄	* Ura 水俣浦 ... 223 ヲ次ノ通改ム
" 13 頁右欄	* Kô 水俣港 ... 224
" 13 頁右欄	* Sima 本島 ノ次ニ次ノ通追加ス
" 13 頁右欄	Mototori Yama 元取山 (モットリ山) ... 131
" 13 頁右欄	* Mottori Yama モットリ山... 131 ヲ削除ス
" 13 頁右欄	* Môtû Iwa 毛通岩 ヲ Môtû Iwa モウツ岩 ト改ム
" 18 頁左欄	* Rokusirô Hana 六四郎鼻 ノ次ニ次ノ通追加ス
" 18 頁右欄	Rowatasi Hana ロワタシ鼻 (ドワタシ鼻) ... 131
" 18 頁右欄	* Sengan Se 千貫瀨 ノ次ニ次ノ通追加ス
" 19 頁右欄	センガン瀨 ... 131
" 20 頁左欄	Sirakami Iwa 白神岩 ヲ Sirakami Se 白神瀨 ト改ム
" 20 頁右欄	* Sugiyama Se 杉山瀨 ヲ Sugiyama Dasi 杉山出シ ト改ム
" 20 頁右欄	* (富江灣)... 168 ヲ削除ス
" 20 頁右欄	* 竹子島 (江ノ島) ノ次ニ次ノ通追加ス
" 22 頁右欄	竹ノ小島 (富江灣) ... 168
" 23 頁左欄	筍島 (有川灣) ... 156
" 23 頁右欄	* 網島 及 網灣 ヲ各 網島 及 網灣 ト改ム
" 23 頁右欄	* Tuno Se 角瀨 ノ次ニ次ノ通追加ス
" 23 頁右欄	(角島) ... 130
" 23 頁右欄	* Umedo Ura 梅戸浦 ヲ Umedo Kô 梅戸港 ト改ム

(終)

昭和7年12月24日印刷

昭和7年12月26日發行

發行者 水路部

東京市京橋區築地5丁目

印刷者 水路部

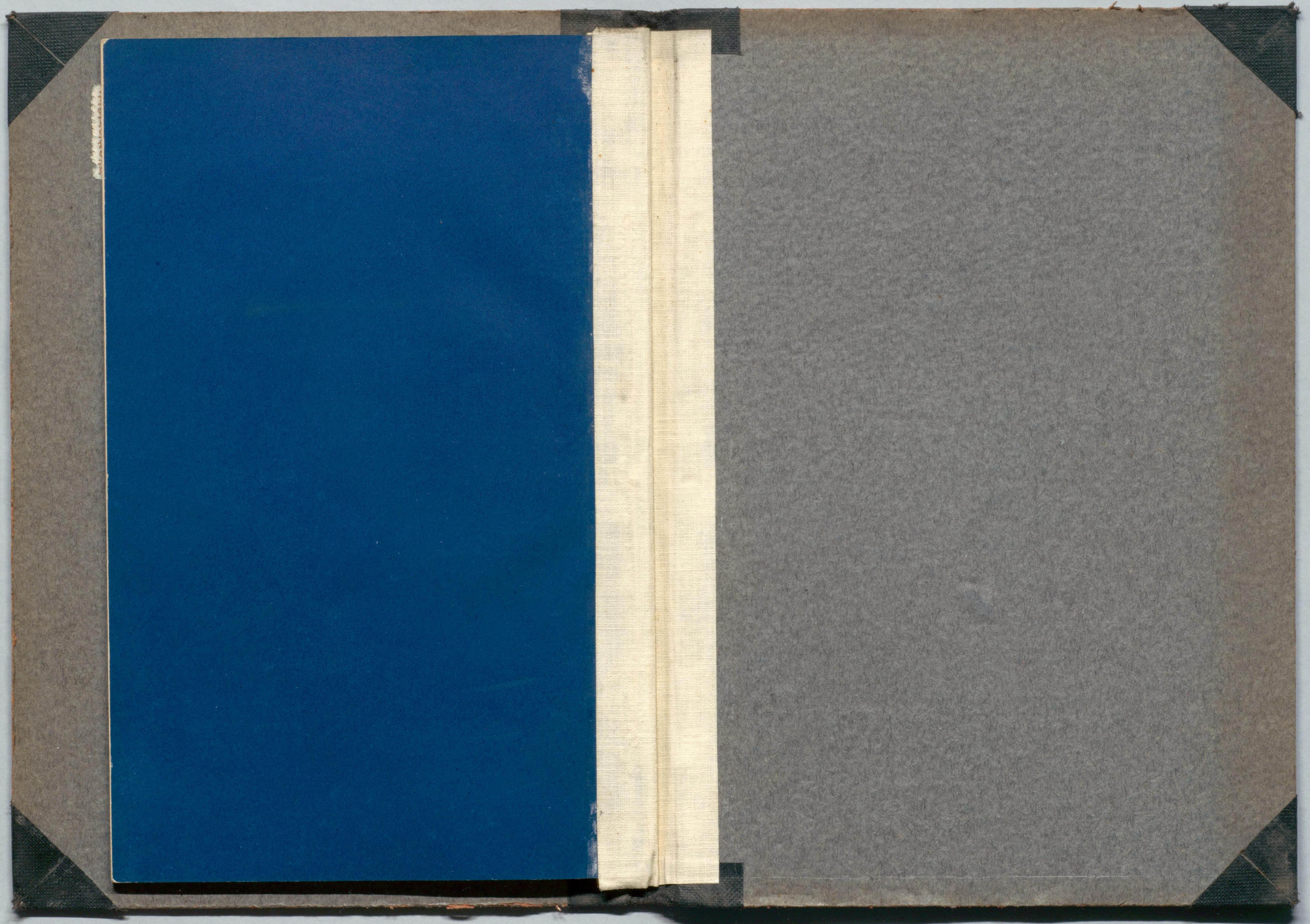
東京市京橋區築地5丁目

販賣所

東京市麴町區丸ノ内2丁目20番地ノ1	日本郵船株式會社
橫濱市中區海岸通リ3丁目9番地	同 橫濱支店
名古屋市中區天王崎町4番地	同 名古屋支店
大阪市西區川口町26番地	同 大阪支店
神戸市神戸區海岸通リ1丁目10番地	同 神戸支店
門司市門司字棧橋通リ1番地ノ1	同 門司支店
長崎市常盤町4番地	同 長崎支店
函館市船場町19番地 (近海郵船株式會社 函館支店)	同 函館代理店
小樽市手宮町3丁目15番地 (近海郵船株式會社 小樽支店)	同 小樽代理店
臺灣基隆市明治町1丁目8番地 (近海郵船株式會社 基隆支店)	同 基隆代理店
朝鮮釜山府大倉町1丁目6番地 (朝鮮郵船株式會社 釜山支店)	同 釜山代理店
大連市山縣通リ181番地	同 大連出張所
中華民國上海黃浦灘路第31號	同 上海支店
神戸市神戸區明石町32番地	日本船主協會

(定價金35錢)





水
53